

特集1

「第5次岡谷市総合計画」がスタートします！

(計画期間：2019年度～2028年度)



岡谷市長
今井 竜五

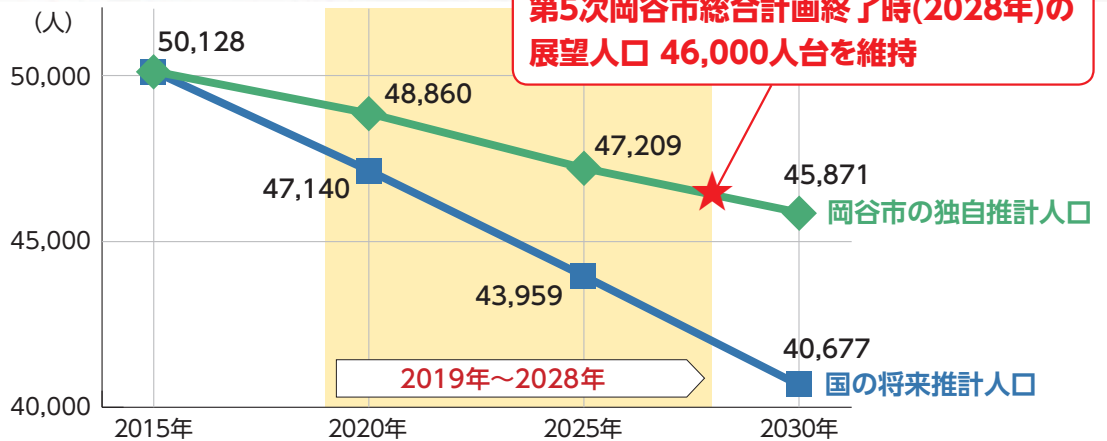
岡谷市の人口は、国立社会保障・人口問題研究所が平成30年3月に公表した「日本の地域別将来推計人口」によれば、2045年には31,525人まで減少が見通されています。

また、全国的な人口減少・少子高齢化による生産年齢人口の減少や地域経済の停滞に伴う税収の減少などに加え、社会保障関係経費の増加や高度経済成長期に建設された公共施設の老朽化に伴う維持管理費などの負担は、地方自治体の財政運営に大きな影響を与えています。

このような状況の中で、多様化・複雑化・高度化する住民サービスの維持と向上に努め、これからの10年間の岡谷市が、市民誰もが安全で安心して、健康で生きがいを持って暮らすことができ、このまちに住み、働くことに誇りと自信、そして、愛着をもてるまち。将来にわたって持続可能で、将来のまちに多くの夢と希望を描ける確かなまちづくりを推進するため、人口減少対策として策定した「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を包含する「第5次岡谷市総合計画」を策定いたしました。

◆将来推計人口

※総人口には年齢不詳者を含む

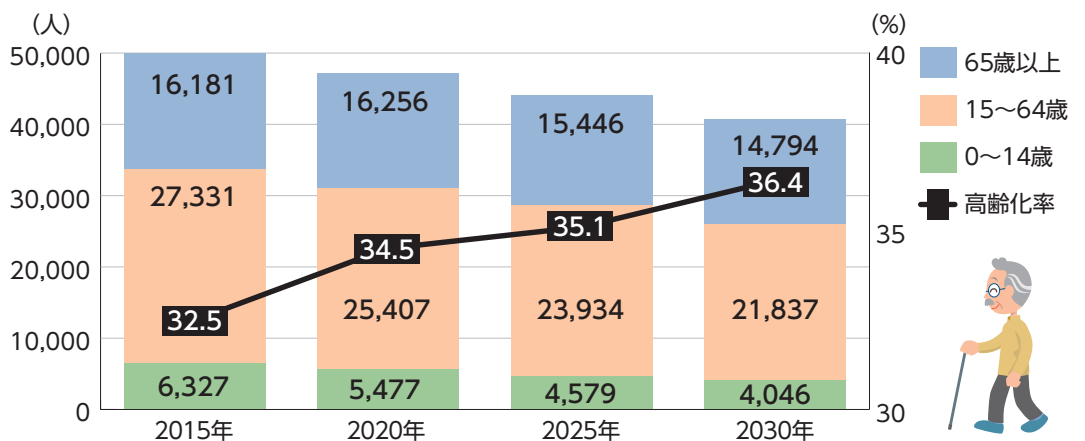


◆人口構造の変化

※年齢不詳者は含まない



【資料】
国勢調査、毎月人口異動調査
(各年10月1日現在)
国立社会保障・人口問題研究所
将来推計人口
(平成30(2018)年推計)



将来都市像 ～10年後のまちの姿～

「人結び 夢と希望を紡ぐ たくましいまち岡谷」

【将来都市像への想い】

まちづくりの中心は「人」であり、いつの時代も、また、どのような状況下にあっても変わることのない、普遍的なものです。「人結び」とは、本市に関わるすべての「人」と「人」があたたかい「心」でまじわり、多様な主体による地域の支え合いがさらに強くなっていくことをはじめ、「人」と「もの」や、「人」と「こと」、「人」と「情報」など、あらゆるものの結びつきが深化していくことを表しています。

また、「夢と希望を紡ぐ」とは、本市の礎を築いた製糸業一繭から繊維を引き出し、^よ縴りをかけて糸にする一になぞらえて、さまざまなものの結びつきにより、市民やまちが抱く夢や希望が紡ぎ出され、実現し、シルクのように美しく強く、そして輝きを放つ人々とまちを表しています。

さらに「たくましいまち」は、岡谷に住み、働き、学び、訪れるすべての人々が、安全で安心して暮らしたり、過ごしたりすることができるまちとしての「やさしさ」と、産業振興によるまちの活力やにぎわいをはじめ、安定した財政基盤など、さまざまなものにより支えられた「揺ぎない力強さ」をイメージしています。

実現に向けた取り組み

とくに力を入れて取り組む 重点プロジェクト

第5次岡谷市総合計画は、2060年の将来展望人口4万人台の維持を目指して取り組んでいる、「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」と合わせて策定したことから、総合戦略に掲げた4つの基本戦略を重点プロジェクトとして位置づけ、人口減少や急速に進む少子高齢化に的確に対応し、人口減少の抑制を図ってまいります。

たくましい産業の創造

岡谷ブランドの発信

輝く子どもの育成

安全・安心の伸展

◆ 6つの基本目標 ◆

ともに支え合い、健やかに暮らせるまち

子育て支援や福祉、保健・医療に関する分野です。

【主な取り組み】

- 子ども・子育て支援の推進
- 福祉の推進
- 保健・医療の推進

未来の担い手を育み、生涯を通じて学ぶまち

学校教育や生涯学習のほか、スポーツと文化の振興に関する分野です。

【主な取り組み】

- 学校教育の推進
- 生涯学習の推進
- スポーツ・文化の振興

人が集い、にぎわいと活力あふれるまち

産業振興に関する分野です。

【主な取り組み】

- 産業の振興
- 地域資源の活用
- 働く環境の充実

安全・安心で、自然環境と共生するまち

安全対策や環境保全のほか、居住環境などに関する分野です。

【主な取り組み】

- 安全対策の推進
- 環境保全の推進
- 居住環境の充実

快適な生活を支え、住み続けたいまち

計画的な土地利用や都市基盤整備などに関する分野です。

【主な取り組み】

- 計画的土地利用の推進
- 都市基盤の整備

みんなでつくる、確かな未来を拓くまち

地域コミュニティや市政運営に関する分野です。

【主な取り組み】

- 地域コミュニティの振興
- 市政運営の推進